

ちよぼら

みんなで楽しく気軽にちよっとずつのボランティア

vol.46

URL <http://www.tachi-shakyo.or.jp>



北鶴木子どもまつり

(詳しくは2ページをご覧ください)

01-フォトギャラリー

北鶴木子どもまつり

02-子どもは地域の宝

子ども見守り隊が「北鶴木子どもまつり」を開催

03-ほっこり井戸端サロン

- ・大刀洗校区巡回バスの取り組みについて
- ・地域での“支え合い”の仕組みづくりに関するアンケート結果について

04-私のボランティア日記

- ～大刀洗町を花でいっぱい～
- ・子ども見守り隊全体研修会報告



北鷯木子どもまつり

～子どもは地域の宝～

北鷯木子ども見守り隊
森 寛 史

4月22日(日)、北鷯木子ども見守り隊主催で初めての子どもまつりを開催しました。(北鷯木区後援・大刀洗町社協協力)

当日は、大きな鯉のぼりが爽やかな風になびいて絶好のイベント日和、40人の子どもが集いました。

前半は、公民館でナレーションサークル風の皆さんによる手作りの「エプロンシアター」と「大型紙芝居」「ゲーム」等で、大いに盛り上がりました。

後半は、我が家の庭を開放して、子どもたちや保護者と一緒に「餅つき」「綿菓子」を楽しみました。そして、入学や進級のお祝いのおみやげを片手に、みんなにこにこ顔で家路につきました。

次の日の朝、登校中の子どもから、「もちつきのおじちゃん、きのうはありがとうございました」とお礼を言われたときは、心がほっこりなごみました。

北鷯木区では、子どもたちが一番楽しみにしている行事が、青壮年部主催の「北鷯木夏祭り」です。それに続く春のイベントとして今回の「北鷯木子どもまつり」が来年以降も定着し、～子どもは地域の宝～という思いのもと、温かなまなざしで子どもたちを見守る地域の人々の輪が広がればよいなと思います。

北鷯木の「子ども見守り隊」は、気軽に、気楽に、気長に子どもたちを見守っていきます。無理なく、楽しく・・・



子どもたちも参加しての餅つき



オオカミから逃げる三匹の子豚!!

ボランティア連絡協議会の ほっこり井戸端サロン

～お茶を飲みながらみんなで楽しく～



テーマ「あなたや家族が高齢になったとき安心して住める地域を考えよう」

■ 大刀洗校区巡回バスの取り組みについて

南部「ミニ」センター長 古賀 世章 氏

■ 地域での「支え合い」の仕組みづくりに関するアンケート

結果について

大刀洗町社会福祉協議会
生活支援コーディネーター

甲斐 有果 氏



青い鳥文庫 山内 啓子

久しぶりにほっこり井戸端サロンに参加しました。今回は、大刀洗校区の巡回バスの取り組みと、「支え合い」の仕組みづくりに関するアンケート結果より、「移動」について皆で話し合いました。

大刀洗校区は、他の3校区に比べ公共交通機関がゼロの地域で、校区でアンケートをとった結果巡回バスの要望が多かったことを踏まえ、「地域づくり委員会」の皆さんが「出来る事をまずやってみよう！」の心意気で何度も話し合い、試行を重ね、現在の「通院・買い物支援、週三回の午前中運行、無料」というスタイルになったそうです。以前に2回施行されたときは、利用者が少なく立ち消えに

なつた経緯がありました。今回は改善して月を追うごとに利用者は増えているそうです。巡回バスは生活支援ばかりでなく、人々の生き甲斐支援にもなると思いますが、他の校区でも巡回バスの運行を考えたらどうかと思いました。

また、町でも住民サービスの一助として役場や図書館利用者のためのコミュニティバスを運行してほしいと思います。その場合巡回バスと連携すると尚便利になるのではないのでしょうか。今回「ほっこり井戸端サロン」に参加して、大刀洗町で安心して住み続けるために、皆で話し合うことの大切さを教えていただきました。また参加しようと思っ

後半は、お二人のお話をふまえ「自分が家族が高齢になったとき、どんな仕組みや支援があったら安心して暮らせるか」をテーマに、校区ごとに自由に意見交換を行いました。



大堰校区

- ・巡回バスは必要、とにかく試行してみる
- ・高齢者の免許返納には、タクシーチケットの配付や交通機関の割引などがあるとよい



大刀洗校区

- ・巡回バスの良いところは、停留所でなくても乗れる・乗り合わせることで仲良くなれること
- ・今後利用者を増やすには、対象を若い人にも広げる、周知の方法を工夫することも必要ではないか



本郷校区

- ・大刀洗校区の巡回バスの取り組みは、住民の声をよく聞いていて素晴らしい
- ・以前、本郷校区でとったアンケートでは「まだバスは不要」との回答が多かったが、今後は検討が必要



菊池校区

- ・菊池校区は高齢者のみで生活している世帯が多いのでこれから心配
- ・地域の人たちとの普段のコミュニケーションを大事にしたい



私のボランティア日記

大刀洗町を花でいっぱい

いきいき幸せ大刀洗の会

ひと花咲かせ隊 平田 宮雄

「この町のひと花咲かせ会合にひょいと顔出し歓迎された」9年前の私の日記です。

「ひょい顔出し」の後、役場前の花壇の手入れやミーティングに参加していくうちに少しずつ自分が会員として役に立つことができていると感じるようになってきました。

会員の皆さんとの楽しい会話の中から、人としての大きさや心の広さ等沢山の事を学ばせていただきながら人の心を巡る旅をしてきたと感じています。

種をまき、植え替えをし、苗を育てる。育った苗を花壇に植えて、草取りにも汗を流す。

美しく咲いた花を、役場を訪れた方々に観ていただくよろこびは格別です。

役場前の花壇には春夏秋冬様々な花が咲いています。「花はどうぞ切って利用して下さい。種子はどうぞ採ってどこかで咲かせて下さい。」こんな光景が町に広がっていくことを私たちひと花咲かせ隊は願っています。どうぞ気楽に声をかけて下さい。



連絡先は 隊長・實藤俊彦 または、社協 筒井まで(TEL:77-4877)

H30子ども見守り隊全体研修会報告(6/29)

子どもたちを守るために、今何を

~できることから始めよう、安全安心のまちづくり~

福岡県安全安心アドバイザー・金子昌隆氏をお招きし、安全安心に関するこれまでの取組みと犯罪の抑止効果等についてのお話を聞きました。

下校時の見守りについては、「家が近づくにつれ友だちの数が減り最後はひとりになる。下校時間がバラバラになるため全てを見守ることが難しく犯罪に巻き込まれやすい。家の前や、散歩のとき、「バス停でバスを待つ」ような感覚で見守ることができれば」と話されました。また、「すべての活動は、「お互いに守り、守られている」ことに気づくことが大切」など、気づき考えさせられる場面が多くありました。



子ども見守り隊より 有限会社三輪産業さんに感謝状を贈呈

同社は、小郡警察署より「見守りネットワーク110」の協力企業として委嘱され、業務形態を活かした地域貢献に取り組まれてきました。特に、大刀洗事業所では、従業員の方々が自発的に本郷小学校の児童の見守りを始められ、その取り組みに感謝し、子ども見守り隊より感謝状が贈られました。出席された同社取締役部長竹田高春さんが「子どもたちを見守る目を増やすことが大切。これを励みに地域のお役にたてるよう努力してまいります」との挨拶を代読されました。



有限会社三輪産業
取締役部長 竹田高春さん

スマイル



代表 福村宮生
福村千代美
田島孝三
宮崎誠